

# 病院勤務医の負担軽減及び処遇改善に資する取組

《負担軽減》

名古屋市立大学病院

担当部署・職種	項目	具体的内容	令和6年度 達成状況	令和7年度 計画
看護部	診療看護師による特定行為（全区分）・相対的医行為の実施	診療看護師の卒後教育、体制整備、マニュアル整備 医師の指示に基づいた安全・確実な特定行為・相対的医行為の実施と役割拡大	達成	継続
	静脈採血等の実施	病棟では看護師が実施しており、外来は中央採血室にて検査技師が実施している。	達成	継続
	入院の説明の実施	患者サポートセンターを設置し、入院にかかる準備や手続きなど、入院の説明（オリエンテーション）を事務職員ともに行っている。	達成	継続
	看護師による特定行為の実施	特定行為研修修了看護師について、令和3年度から看護師の特定行為運用委員会を立ち上げ、院内での実施前研修体制の整備と運用を実施している。	達成	継続
	助産師外来の実施	原則妊娠24週以降で、低リスク妊婦の妊婦健診（一部）・妊産婦の保健指導を実施している。	達成	継続
薬剤部	外来化学療法室での患者への介入（副作用モニタリング・服薬指導）	外来化学療法室で、患者へがん薬物療法の説明を実施している。副作用発現状況等をカルテ確認および患者から聴取し、評価、減薬や支持療法の提案をしている。	達成	継続
	外来化学療法室でのオーダー代行入力（PBPM）	医師と事前に合意したプロトコールに基づき、処方などの代行あるいは下書き等を行っている（前投薬等の処方忘れ/患者持参忘れ、外来化学療法によって発生した副作用に対する支持療法など）。	達成	継続
	持参薬継続指示（不足分は処方）の下書き	薬剤師が入院患者の持参薬確認を行い持参薬報告を作成した後、プロトコールに合意した診療科（特定病棟）において持参薬の継続指示（持参薬が不足する場合は処方）の下書きを行う。	達成	継続 （拡大検討）
	外来化学療法を受ける患者に対する薬剤師による診察前面談の実施	医師の診察前に薬剤師が患者と面談し副作用の聴取・評価を行い、化学療法実施の妥当性評価や最適と考えられる支持療法の提案などを行う。	達成	継続 （拡大検討）
	免疫チェックポイント阻害薬におけるirAEモニタリング検査項目補完のための代行オーダーPBPM	医師と事前に合意したプロトコールに基づき、免疫チェックポイント阻害剤投与に係る必要な検査項目漏れに対して薬剤師が検査オーダー追加の代行を行う。	達成	継続
臨床工学技術科	ロボット手術前後の準備・調整	医師・看護師が実施していた、ダヴィンチのロールイン・ロールアウトを臨床工学技士が行う。	達成	継続
	透析患者の穿刺	透析開始時の穿刺を臨床工学技士が実施する。	達成	継続
	PCPSのプライミング	心臓カテーテル検査時にPCPSなど補助循環に係るプライミングを臨床工学技士が行う。	達成	継続
	臨床工学技士による麻酔補助業務	麻酔記録の代行入力や麻酔器の使用前準備等の麻酔補助業務を行う臨床工学技士を養成するための院内研修プログラムを令和5年度より開始する。	達成	継続
	臨床工学技士によるレジストリーの代行入力	心臓カテーテル治療におけるレジストリー登録（J-PCI、J-EVT、J-PVAD）を行う。	達成	継続
	臨床工学技士による患者への遠隔モニタリング機器などの説明	ペースメーカーなどのデバイス植込み患者に対し、遠隔モニタリング装置の使用方法、MRIカードの説明などを行う。	達成	継続
	アフレーシス施行時の穿刺	CEがGMA療法やPE施行時に穿刺を行う。	達成	継続
	透析予約調整の入力	CEが透析予約調整を入力する。	達成	継続
放射線技術科	画像誘導放射線治療（IGRT）における画像の一次照合等	毎回の医師による照射位置の決定を放射線科医師の指示のもと放射線技師が実施する。	達成	継続
	放射線造影検査時（CT・MRI検査）の造影剤の投与	CT・MRI検査時の造影剤の投与を医師に代わり放射線技師が自動注入装置を用いて実施する。	達成	継続
	血管造影検査時の造影剤の投与等	動脈路に造影剤注入装置を接続する行為（動脈路確保のためのものを除く。）及び造影剤を投与するために当該造影剤注入装置を操作する行為、自動注入装置を用いて血管内へ造影剤を投与など医師に代わり放射線技師が実施する。	達成	継続

## 病院勤務医の負担軽減及び処遇改善に資する取組

### 《負担軽減》

名古屋市立大学病院

担当部署・職種	項目	具体的内容	令和6年度 達成状況	令和7年度 計画
放射線技術科	放射線検査等に関する説明、同意書の受領	放射線検査等（一般撮影検査、CT検査、MRI検査、核医学検査）の実施に当たっては、基本的には医師が説明すべきルールとなっているが、放射線検査等の目的や必要性、具体的な手法、放射線被曝、造影剤の副作用、安全性についてなど、必要がある場合は放射線技師が適切に説明する。	達成	継続
	放射線管理区域内での患者の誘導	放射線管理区域内への患者の誘導や、放射性医薬品投与後の安静待機室への誘導など、放射線管理区域内での患者の誘導放射線技師が実施する。	達成	継続
看護師、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士等	検査手順の説明	検査説明や各種書類の説明、同意書の受領などを行っている。	達成	継続
医事課 (医師事務作業補助者)	診断書記載の事務的補助	診断書の作成について、作成の補助を事務担当で行うと共に、患者へ交付する期間が遅くならないように督促などの執行管理も行なっている。	達成	継続
	外来業務の事務的補助	外来における医師の事務的作業補助として実施しているが、さらなる増員を行い補助業務内容を充実していく。	達成	継続
	初診時の予診の実施	一部診療科において診断書等の文書作成補助や診療記録への代行入力を実施している。	達成	継続
地域医療連携室	かかりつけ医相談室の運用	特定機能病院として、難治疾患や高度な診療を必要としない患者の外来受診を抑制するため、主治医の依頼を受け専任の看護師、事務担当者が地域の医療機関へ患者を紹介する業務を実施している。	達成	継続
管理課	連続当直を行わない勤務体制の実施	連続当直とならないよう勤務計画を作成している。	達成	継続
	勤務間インターバルの確保	勤務間インターバルが確保できる勤務予定を作成している。	達成	継続
	当直翌日の業務内容に対する配慮	当直明けの勤務負担の軽減を実施している。	達成	継続
	交替勤務制・複数主治医制の実施	交替制勤務を導入し、一部診療科において複数主治医制・チーム制の導入を実施している。	達成	継続
	勤務時間内での病状説明やその他の面談等の実施	患者や患者家族への病状説明やその他の面談等について、原則平日8時30分～17時の勤務時間内に行うこととする。ただし緊急の場合や、医師から申し出る場合を除く。	達成	継続

### 《処遇改善》

担当部署・職種	項目	具体的内容	令和6年度 達成状況	令和7年度 計画
管理課	名古屋市人事委員会勧告に準じた基本給等の引き上げ	名古屋市人事委員会勧告に準じ、基本給等を引き上げた	達成	継続
	学内保育や病児保育の設置	学内保育や病児保育の導入を実施している。	達成	継続